

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 : 特定非営利活動法人 ハンディキャップサポートウーノの会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「石窯パン工房ウーノ」事業展開

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

障害者が、健常者と同等に自立できる支援事業を展開することは「障害者自立支援法」に基づき理解を得ているが、就労先の受け入れ先は困難だ。一般就労できない障害者をこの事業で受け入れ、パン作りを通じて技能向上と、社会への理解を深めることがこのプロジェクトの目的だ。

障害者自立支援法の就労継続支援B型に移行し、事業拡大することで地域の知的障害者の就労先としての機能を果たす。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

東京都障害者自立支援基盤整備事業の助成公布申請をし、西武新宿線柳沢駅前 柳沢都営3号1階店舗を借用して製菓製パン製造販売を開業する。今回助成金を申請したフライヤーにより、既存店の『お菓子工房マーブル』で、製造していないドーナッツと、惣菜パンに必要なコロッケ、カツなどの揚げ物を製造する。指導員は4名、知的障害者を最終的に10名受け入れる。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

パン製造過程で、焼く作業があり、揚げる製品もある。ドーナッツ、カレーパンなどが代表的だ。

今回の支援で一番の有効活用を目的としているのは、揚げ物などの惣菜をパンにはさむ作業だ。この作業は障害者にも作業が難しくなく、一般就労者と引けを取らない製品ができるはずだ。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

5月14日開店を目の前にして、4月より障害者が就労し、訓練中でかなり能力がある人達で2年計画で進めているが、期待できそうだ。開店前に営業許可書を受け、すでにたくさんの注文が入っている。

できたてのエピカツバーガーが当店の売りとし、発売する予定で前評判もいただいている。

この度の助成をいただきウーノの会一同感謝の気持ちでいっぱい、開店までの残り少ない日数を過ごしている。

ありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

